

KINJO MIND

KIND

Kinjo University 2019.3

No.28

◆在学学生ピックアップ

◆後援会活動報告

平成30年度後援会 地域別説明会・個別相談会
決算見込み及び経費執行経過報告
後援会による主な教育・研究支援について

◆大学行事

卒業研究発表会、学生との意見交換会
新・金城イルミネーション2018「Connecting KINJO」点灯式
平成30年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式

◆トピックス

第13回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告

◆教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告、科学研究費助成事業採択状況

◆新任教職員紹介

◆クラブ・同好会活動報告

◆平成30年度卒業パーティー

◆2019年度大学行事案内

在学生ピックアップ

ゆうがく広場での楽しい学びが
これからつながる貴重な経験

社会福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース 3年 山下 麻里



ゆうがく広場では、地域の高齢者の方々に大学に招き、季節に沿ったアクティビティ活動を年に学内で9回、学外で3回行っています。介護コースの3年生が中心となり、さまざまな活動が行われています。毎回の活動内容は学生が意見を出し合い、参加者の方が安全に楽しめるものを考えています。ゲームや花植えだけでなく、物を制作したりすることもあります。準備段階でも「こうした方がより楽しんでもらえるのではないか」「このようにしたら活動後に家でも使えるのではないか」と意見を出し合いより良いものとなります。活動では、地域で元気に暮らしている参加者の方の話が聞けたり、活動中の表情を見ることができ、夏祭りを行った時には、ハンドマッサージを行い、アロマの匂いや効能から参加者の方にアロマオイルを選んでもらいました。そうすることで、アロマの効能についての話やマッサージの話で、より学生と参加者の方との心の距離が近くなったように感じました。

ゆうがく広場でのアクティビティ活動の企画、運営やコミュニケーション能力の学びが基盤となり、介護実習Ⅲのアクティビティ活動に生かすことができました。ゆうがく広場での経験を生かし、さらに学びを深めることで、さまざまな活動に繋がれると思います。この経験はこれからの私にとって良い学びとなりました。

実習や課外プロジェクトの経験を生かし
信頼される理学療法士を目指す

医療健康学部 理学療法学科 3年 徳力 大朗

小さい頃に何度か怪我をした際、理学療法士にお世話になりその時に憧れの気持ちを抱き、今こうして勉強しています。



現在、3年次の臨床評価実習が終わり次の臨床実習に向けて準備中です。評価実習ではたくさんの方の失敗とたくさんの経験を積みました。

患者様に負担をかけないように丁寧に迅速に正確に検査・測定しなくてはならないとそれだけで頭がいっぱいでした。しかし知識や技術は勉強、練習をすれば上手くなります。それが全てではなく、目的や意義をはっきりさせるということが一番大事なことであると思いました。恐らくこれは理学療法士という問題点ではなく、人生のあらゆる場面でも必要となってくることです。

「足のけんこう教育プロジェクト」という活動を行っており、足について幼稚園児から高校生まで調査しています。人の足は全て同じではなく一人ひとり違う足を持っています。講義や実習とは別に学べるため、より専門的知識が増えます。

なにもかも鵜呑みにするのではなく「なぜ?」という気持ちで大事で、その気持ちを忘れずに患者様の気持ちに寄り添い、信頼される理学療法士になりたいと思っています。

友達と立ち上げた手話サークルの活動が
自分自身の視野を広げてくれた

看護学部 看護学科 4年 川本 悠介

私は高校生の時に聴覚障害を持つ方と接する機会があり、その時に自分の思いを伝えたり、相手の言っていることが読み取れず困ってしまった経験をしました。それから大学に入学し看護学を学んでいく中で、もともとたくさんの人と繋がりをもちたいと思うようになりました。

まず看護を施していくには、疾患はもろろんのこと、相手の生活環境や思いを想像、理解して相手を受け入れる力と、それを相手に伝える力が必要だと思っています。そのためにも、障害者について理解を深め繋がりを持つということが看護師になるための貴重な経験になると思い、2年生の時に友達と共に手話サークルを立ち上げました。友達との手話の勉強や実際に聴覚障害者の方たちと関わるなかで、本人の思いや生活の工夫などを学び、自身の視野が広がったと感じました。自分が少しでも変わり相手を理解することができるようになり、自然と距離が近くなり相手との壁が無くなっていくように感じました。

将来はこのような経験を生かして、どんな障害や疾患を抱えている人に対して、一人ひとりを認めて平等に真心を持って看護を施す看護師になりたいと思います。



後援会 活動報告



平成30年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

平成30年12月8日(土)13時より、今年度も能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場は「七尾産業福祉センター」にて8人、福井会場は「福井市地域交流プラザアオツサ」にて16人、富山会場は「富山流通会館」にて29人、合計53人の保護者の方にご参加いただき、各会場とも、修学や学生生活、就職や各種資格に関する数多くのご質問・ご意見をいただきました。

◆決算見込み及び経費執行経過報告(購入備品、寄付状況等について)

平成30年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会費	18,240,000
利息	94
前年度繰越金	2,053,412
合計	20,293,506

平成30年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生生活支援費	5,575,200
就職・教育活動支援費	5,995,239
会員研修費	400,000
研究活動支援費	434,160
会議費	629,873
通信費	420,598
慶弔費	280,000
事務費負担金	500,000
広報費	508,600
雑費	159,444
卒業記念品代	1,000,000
特別会計繰入金	1,000,000
合計	16,903,114

次年度繰越金	3,390,392
--------	-----------

◆後援会による主な教育・研究支援について

学生生活支援費

環境整備として松任キャンパスの駐輪場の整備に対して補助を行いました。

就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文事例研究の要旨集について、平成31年3月に発行し、全学生に配付します。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現状、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

ボールペンセットを購入し、平成31年3月18日(月)卒業式当日、卒業生(321人)に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、2019年度後援会総会(2019年6月22日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学行事

卒業研究発表会

医療健康学部・看護学部・平成30年10月6日
 社会福祉学部・平成30年12月～31年2月

平成30年10月6日(土)に、金城大学医療健康学部及び看護学部にて、卒業研究発表会が開催されました。理学療法学科と作業療法学科の2学科で開催し、看護学部は今年初めてとなります。2学部の学生は3年次よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する集大成の発表会です。

学生たちは、パワーポイントやポスターを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるように努力する様子も見られました。教員からの助言や在学生からの質問などがあり、活気に満ちた素晴らしい卒業研究発表会となりました。

卒業研究発表会では、優秀発表者の選出が始まり、優秀発表者は教員と学生の投票で選出され、卒業式で表彰されました。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行いました。

学生との意見交換会

平成30年10月24日・31日

今年度の学生との意見交換会は、平成30年10月24日(水)に3・4年生、31日(水)に1・2年生と学年別に行われました。3学部の学生と教職員が施設や行



看護学部



医療健康学部

事、授業運営など様々な事柄に関して意見を交わしました。大学及び後援会では、貴重な意見を参考によりよい教育環境を提供できるよう努めていきたいと思います。

新・金城イルミネーション2018
 Connecting KINJO

平成30年12月14日

2008年度から2017年度まで「金城イルミネーション」として電飾を設置、冬の寒空に明かりを点灯してきました。昨年度の10回目を節目として一区切りをつけ、今年度は装いも新たに白山市の協力のもと、市所有の環境に優しいペットボトルを使用した「新・金城イルミネーション2018」としてリニューアルしました。テーマは、今年度の金城祭のテーマ「Connecting」～みんなであつながら金城祭～」を意識し「Connecting KINJO」としました。

大学と短大、キャンパスの過去と未来、在学生と卒業生、学生と教職員、大学と地域など、KINJOに関係する様々な対象が、この場所であつていくことを願ひ開催しました。



平成30年度金城大学卒業証書学位記授与式
 及び金城大学大学院学位記授与式

平成31年3月18日

平成31年3月18日(月)に平成30年度卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生142人、医療健康学部の卒業生97人、看護学部の卒業生80人、大学院修士2人が学び舎を後にし、

社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真一理事長が告辞を、前島伸一郎学長が式辞を述べました。続いて祝辞が披露され、最後に卒業生を代表して吉野枝利奈さんが答辞を述べました。

同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。
 ※卒業パーティーの様子は裏面参照



トピックス

第13回保健・医療・福祉創造フォーラム
 開催報告

平成30年11月24日

平成30年11月24日(土)に第13回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「いのち輝く共生社会の実現をめざして」とし、佐々木則夫氏(十文字学園女子大学副学長(サッカー日本女子代表前監督))による講演「目標達成のプロセス5つの提言」が行われました。

講演後にはシンポジウム「ここからだの活性化と運動・スポーツ～あなたらしく生き生きと暮らすために～」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

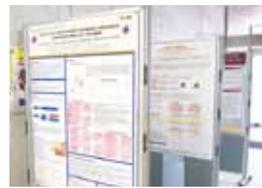


大学の教育・研究活動報告

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会 開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月20日(土)・21日(日)の期間で実施された活動成果報告会(ポスター発表)の発表者は次の通りです。



- 1 一ノ山隆司教授(看護学部)
「テキストマイニングによる看護系大学の初年次教育の傾向分析」
- 2 神谷晃史准教授(医療健康学部)
「腰背部への伸縮テープ貼付が体幹回旋可動域に与える影響」
- 3 小島聖准教授(医療健康学部)
「マウス変形性膝関節症モデルに対する振動刺激が関節軟骨に及ぼす影響」
- 4 小島聖准教授(医療健康学部)
「EFFECT OF CRYOTHERAPY ON MODEL RATS WITH OSTEOARTHRITIS OF THE KNEE 変形性膝関節症モデルラットに対する寒冷浴の影響」
- 5 境美砂子助教(看護学部)
「看護系大学生の入学直後に認識する大学と高校の違いに関する内容分析」
- 6 境美砂子助教(看護学部)
「看護系大学生の初年次教育におけるアクティブラーニングの認識」
- 7 佐々木賢太郎教授(医療健康学部)
「二重課題下における歩間変動と固有感覚の関連性」
- 8 澤俊二教授(医療健康学部)
「慢性脳血管障害者の総合的追跡調査 発病10年片麻痺手感覚・知覚機能の推移と改善例の特徴」
- 9 中磯子教授(社会福祉学部)
「高齢者に対する親しみやすい音楽療法の心理的効果」

- 10 野々市市高齢者サロンの高齢者の方々の経験から」
- 10 樋貝繁香教授(看護学部)
「早産児の退院直後から退院1カ月における両親の睡眠状況」
- 11 福永肇教授(社会福祉学部)
「地域医療構想推進・地域包括ケア体制構築における『地域医療連携推進法人』を通じた医療提供の研究」

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費(助成制度)です。平成30年度の採択・交付者は次の通りです。



- 1 岩城直子教授(看護学部)【研究代表者】
「放射線療法中の乳がん患者へのPILテストを手がかりとした看護介入の活用可能性」
- 2 川邊弘之教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「劣化した点字図書のリ元システムの構築」
- 3 越納美和助教(看護学部)【研究代表者】
「大学生と地域住民の多世代協働による『観光資源活用型健康増進プログラム』の開発」
- 4 佐藤香緒里准教授(医療健康学部)【研究代表者】
「高齢者の転倒防止プログラム」跨ぎ動作時の障害物と距離・位置関係に着目して」
- 5 下村有子教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「全盲学生のボランティアを支援する授業資料等の点字への翻訳システムの提案」
- 6 田中克恵教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種チームケアプロセスモデルの開発」
- 7 田淵祥恵講師(看護学部)【研究代表者】
「夜勤・交代制勤務の看護師に対する睡眠衛生教育プログラムの開発」

育プログラムの開発」

- 8 中磯子教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「歌唱を取り入れた二重課題の心理的負荷と認知機能におよぼす影響」
- 9 永井将太教授(医療健康学部)【研究代表者】
「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
- 10 彦聖美教授(看護学部)【研究代表者】
「男性介護者のソーシャル・キャピタルの特徴を踏まえた健康支援のあり方に関する研究」
- 11 柳原真知子教授(看護学部)【研究代表者】
「女性冷え性の東洋医学的所見と生体指標との関連及び冷え性ケアの効果検証の研究」

【金城大学短期大学部】

- 1 新井浩准教授(美術学科)【研究代表者】
「環境音の可視化による聴覚障害者支援 ―マンガ表現を用いた臨場感フォントによる支援―」

(五十音順)

新任教職員紹介



看護学部 中野 元
専門分野 基礎看護学

看護を学ぶ4年間はつらいこと、楽しいこともあり、あつという間です。その瞬間が実になるような学習や挑戦を応援したいと思います。勇気と感謝をもつて学生生活をお手伝いしていきたいと思えます。



職員 西野 耕太郎
所属部署 経理部

今年2月より経理部に勤務しております。皆様にも少しでも貢献できるよう努めていきたいと思っております。宜しくお願ひします。

学生生活費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子バレーボール部

活動内容 部員数…14人(大学4年4人、3年3人、2年3人、1年3人、短大1年1人) 抱負…私たちは「日本二」を目指してお互いに高め合いながら目標達成のために日々練習し頑張っています。

活動報告 北陸三県学生春季リーグ戦優勝(7季連続26回目)、春季北信越大学選手権大会準優勝、東日本大学選手権大会ベスト16(3回戦敗退)、北陸三県学生秋季リーグ戦優勝(8季連続27回目)、秋季北信越大学選手権大会準優勝、天皇杯皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド1回戦敗退、全日本大学選手権大会ベスト32(2回戦敗退)



女子卓球部

活動内容 私たち卓球部は全国ベスト4以上を目標にお互いが切磋琢磨し合っで日々練習に取り組んでいます。又、真剣に練習ができる環境、支えてくださっている先生方や仲間、OB・OGの方々に感謝の気持ちを忘れずプレーすることを心がけています。



活動報告 (T…団体、W…ダブルス、S…シングルス)
 春季北信越学生卓球選手権大会(T…優勝、W…優勝、準優勝、S…準優勝)、全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)ベスト16、夏季北信越学生卓球選手権大会(T…優勝、W…準優勝、S…優勝、準優勝)、秋季北信越学生卓球選手権大会(T…優勝、W…優勝、S…優勝、準優勝)、北信越新人学生卓球選手権大会(T…準優勝、W…優勝、準優勝、S…優勝、準優勝)

ダンス部

活動内容 こんにちは！金城大学ダンス部です。私たちダンス部は、毎週月曜日と金曜日の16時30分から短大のリズム室で練習をしています。地域のお祭りやイベントに出演させていただいたり、毎年夏と冬には大きな舞台で自主公演を行っています。部員同士の仲もよく、夏にはBBQや海、ポーリング大会、温泉旅行など楽しい行事も盛りだくさんです！一緒にダンス部で大学生活をエンジョイしませんか！！



活動報告 保育園や障害者、高齢者施設や地域のお祭りや、小学校での運動会のダンス指導、石川さんカーニバルや一里野音楽祭、フォーラス金沢ハロウィンイベントなどのイベント出演などがあります！冬には1年間の集大成でもある、部員で0から作り上げる自主公演も行います！！

硬式野球部

活動内容 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、夏休みと春休みについては、毎週火曜、土曜授業期間中は、毎週土日に練習しています。春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦でつても多く勝利を収めるようチーム一丸となって活動しています。



活動報告 平成30年度北陸大学野球春季リーグ戦6位、北陸大学野球新人戦1回戦敗退、平成30年度2部北陸大学野球秋季リーグ戦7位でした。全員がなかなか集まらなくて活動ができない中で、長期休暇中に他大学とのオープン戦を行い、野球を通じて学生間の交流を図っています。

キンボール部

活動内容 小矢部市キンボール交流大会、キンボールスポーツ連盟会長杯、ジャパンオープンにメンバー2部が参加した。練習としては、週に二回(月水)笠間軽体育館で行った。普段は、シヨット練習や守備練習を主にやって、大会が近いときは、試合の回数を増やして大会へのモチベーションが高められるような練習を行っていた。部員の意見も取り入れながら、練習メニューを決めた。



活動報告 小矢部市キンボール交流大会、キンボール連盟会長杯では決勝まで進むことができなかった。そして、ジャパンオープンでは予選で敗退した。秋ごろから、活動に参加する部員が少なくなってきた。チームを組むことができずに、試合形式の練習が少なくなりました。ことが上にいけなかった要因の一つである。

男女バスケットボール部

活動内容 目標は男女とも上部昇格することです。練習は週三回で、内容はデイツェンス、リバウンド、走ることを意識した基礎練習、最後に試合形式の練習を行っています。経験を積むためにほかの大学や社会人との練習試合を行い、石川県内、白山市内の大会



会にも積極的に参加し、技術向上に努めています。

活動報告 第52回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦「男子/女子」チーム人数を満たせず不参加、第52回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選「男子/女子」予選トーナメント敗退、第14回白山市バスケットボール選手権大会「女子」準優勝

男子バレーボール部

活動内容 週5回の練習。目的は、心と体を鍛え、人として魅力ある生き方ができるような部活動を目指している。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることである。



活動報告 春季北陸三県大会1部3位、春季北信越大学選手権大会1部5位、石川県バレーボール祭1回戦敗退、白山市体育大会(バレーボール競技)優勝、東日本バレーボール大学選手権大会予選リーグ敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会1回戦敗退、秋季北陸三県大会1部3位、秋季北信越大学選手権大会予選リーグ3位、石川県6人制男女バレーボール交流会1回戦敗退、石川県ウインターリーグ参加予定

音楽部

活動内容 夏と冬、卒業シーズンに二回ずつライブハウスで定期ライブを主催しています。他にも、新入生歓迎会や金城祭、他大学との共同企画や、その他学外などでも活動をしています。主に放課後、バンドメンバーで集まり練習をしています。部員のほとんどが大学から楽器を始めた初心者ですが、皆積極的に、楽しみながら活動しています。



活動報告 新入生歓迎会ライブ、ロータリーライブ、夏ライブ、石川県立大学合同ライブ、金沢学院大学合同ライブ、部室ライブ、冬ライブ、卒業ライブ、その他学外でも活動を行っています。

STサークル

活動内容 放課後や空き時間を使ってテニスをしていきます。メンバーは経験者から初心者までさまざま。ラケットやボールなど最低限のものが揃っているので、気軽に参加できます。



クラブ・同好会 活動報告

活動内容 鯖江市長杯オープンソフトテニス大会優勝、坂井市連会長杯大会準優勝

Mix Juice 100%

活動内容 知的に障害のある30〜40歳の方と一緒に造形活動や運動、音楽活動や合宿やイベント参加を行っています。合宿では利用者の方をはじめ、ご家族の方、スタッフさん等普段では関わることでできない方々と交流し、自分の考えや知識を深めることができます。月に1度定期的に活動を行っており、ボランティア先のスタッフさんとのミーティングも行っていきます。



災害支援サークルVORABO

活動内容 VORABOは主に災害ボランティアに関する活動をしているサークルです。今まで、被災地で泊3日のボランティア活動や、災害時や防災に関する講習に参加してきました。また、社会福祉協議会と協力し、赤い羽根共同募金の活動にも参加しています。VORABOは他のサークルクラブと掛け持ちしている人も多く、気軽に参加しても大丈夫です。災害ボランティアやボランティア活動に興味がある人ぜひ参加してみてください。



活動内容 30年度は9月に被災地ボランティア活動、10月には赤い羽根共同募金活動をしました。またボランティア活動以外にも、9月に災害時に役立つ知識を学ぶ講座、11月には防災に関する研修会に参加しました。

釣り同好会

活動内容 休日を利用し、金沢港や付近の堤防、防川で釣りの基本やマナーなどを学んでいます。また文化祭では釣つきた鮎の塩焼きを出しています。理学療法・作業療法看護学科と様々な学部の人々と交流もでき、釣り経験者が竿の持ち方、ルアーの投げ方、餌の付け方など教えています。狙う魚はアジやメバルをはじめ、回遊してくる大物(青物)を狙っています。



KSC(少林寺拳法サークル)

活動内容 毎週火曜・木曜・土曜の3回活動を行っている。練習以外にもみんなで楽しめるような行事を企画した

り大会で東京にも行くため、観光もしています。また、他の大学の少林寺拳法部とも合同練習や合宿を行っているの他のサークルと比べ、他大学にも友達ができやすいです。

活動内容 毎年開催される大会に積極的に参加をし、単独演武では優勝もしたりしている。また、初心者だからというものはなく、初心者でもしっかりと分かりやすいように教える為、昨年は1位、2位を受賞することができたため、やりがいはある！



吹奏楽同好会

活動内容 現在は、新しく部活を立て直したばかりなので、みんなが楽しく活動できる環境を作れるよう頑張っています。新年度に入って新入生を迎え入れることができるよう基礎力向上を目標に、日々頑張っています。また、自分の楽器を持ってなくても参加できるように、部活で楽器をそろえられるようにしています。



活動内容 各パート、週1〜2回のパート練習、必要な楽器の収集、他団体の演奏鑑賞、本年から、福祉施設などでのボランティア演奏、他団体の演奏会でのエキストラなど

しゅわっち(手話サークル)

活動内容 2016年から活動を始めました手話サークル「しゅわっち」です。現在、看護学部の学生28名で活動しています。月に2回ほど看護学部棟を中心に集まります。「ゆるく」「楽しく」をモットーに、手話の学習に取り組んでいます。手話の学習を通して、障がいのある方の生活について考えることで、自分自身の視野が広がると考えています。これからもできるだけ、障がいのある方々との交流の場に参加したいと考えています。



活動内容 今年は、白山市内の聴覚障がい者のサークルや白山市手話奉仕員養成講座へ参加しました。手話検定試験にもチャレンジして合格をしたメンバーもいました。障がいを持った方とのふれあいや手話の学習を通じて、障がい者のことを考え、理解することで、自分の幅を広げるチャンスになると思います。初心者の方、大歓迎です。気軽に声をかけてください！

マラソンサークル

活動内容 練習は各自、大会をみんなで出ようというサークルです。一人で自分の限界を知りたいときは個人レースで、先輩や先生とコミュニケーションをとりたときはみんなでマラソンを。個人レースでも合わせて走りたかったららんびりと。大会の融通が利くサークルです。今年度はハーフマラソンやナイトマラソン、フルマラソンに挑戦する部員もいました。これからの、予定として3月には4年生の走別会を兼ねたリレーマラソンに参加します。



活動内容 テレ金リレーマラソン(ハーフマラソンの部)第12位、加賀温泉郷マラソン(10km)5人全員完走、能登島ロードレース(ハーフ)4人全員完走、加賀温泉郷ナイトマラソン(32km)4人中3人完走

ブルスポーツ金城

活動内容 フランス発祥のスポーツであり、スポーツブルとベタンクをしているサークルです。競技人口も少なくまだまだこれからです。世界を目指す人やレジャー感覚で行っている幅広いメンバーです。練習は金城大学陸上競技場で不定期に実施しています。練習が足りないメンバーは自主トレを実施しています。



活動内容 第2回西日本スポーツブル選手権1位、第19全日本スポーツブル選手権シングル第3位

リフレッシュユイト

活動内容 毎週火曜日、交流やリフレッシュすることを目的としたスポーツ、レクリエーション活動を行う。体を動かす遊びを主体としているが、場合によっては教室の中で行うことのできる活動を楽しむ。

活動内容 学内かくれんぼ、フットサル、カードゲーム等、逃走中、フットバスケット、椅子取りゲーム、ジェスチャーゲーム、ハンカチ落とし、ケイドロ、だるまさんが転んだ、キックベース、ドッチボール、バナナ鬼、ポトルアップ、バスケットボール、ガッツチャン、ウォークラリー、などなぞねこねずみ、ドッチビー、自己紹介ビンゴ、試験勉強、バドミントン、ヤッチ、バーベキュー、仮装室内かくれんぼ、様ゲーム、イントロド、ロシアンレット、ワードウルフ、忘年会、クリスマス会、ソフトバレーボール、新年会



平成31年
3月18日

平成30年度

卒業パーティー



▶2019年度 大学行事案内(予定)

- 2019年度 入学式:2019年 4月 1日(月)
- 2019年度 新入生歓迎会:2019年 4月 6日(土)
- 2019年度 新入生研修:2019年 4月13日(土)
- 2019年度 後援会総会:2019年 6月22日(土)
- 第44回 金城祭:2019年10月19日(土)・20日(日)
- 2019年度 地域別説明会:2019年12月 7日(土)

▶平成30年度 金城大学 学部・学科構成 一覧



大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部	フリーダイヤル 0120-276-150	TEL 076-276-5175 (直通)	FAX 076-275-4316	E-mail nyushi@kinjo.ac.jp
-------	-------------------------	--------------------------	---------------------	------------------------------

KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第28号 平成31年3月31日発行 編集兼発行:金城大学後援会 事務局
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 前島伸一郎・後援会会長 高松喜与志(高松機械工業株式会社 代表取締役社長)
〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 〈URL〉<http://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/>
〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651 〈E-mail〉u-koenkai@kinjo.ac.jp